

感染症のパンデミックが早晚生じることは予想されていたことではあったが、実際に発生すると生活に及ぼす影響の大きさに愕然とさせられた。ワクチンが予防法として確立されてきたが、高所得国がワクチンを買ひあさり、アフリカ等の低所得国ではワクチンが供給されない状況を生じていた。結果的にそうした国々で新たな変異株が生まれやすいことに気づかされた。また、人間の営みが人獣共通感染症の発生をもたらして、今後も新たな感染症に曝されるであろうことが危惧される。現在の環境問題はCOP26のように地球温暖化を象徴として議論されるが、感染症対策を含め国際的連帯が重要な課題である。

その昔、STが乏しい時代に画像通信技術を利用した失語症の在宅支援システム

の開発事業にかかわったことがある。

その後リモート技術は発展したが、その応用は教育を含めてさほど普及してこなかったようである。

一方で、この2年間でリモートによる会議や催しが増えたが、同室で対面でのコミュニケーションとは何か異なり、あらためて言葉や表情以外の要因にも興味もたれる。

感染症の関与が示唆される神経病変の一つに脱髄があるが、脱髄性疾患では疲労の訴えが一般的である。その発生機序の解明は大切な研究課題であるが、疲労に苦しむ人々の生活、活動に対する支援もさまざまになされてきた。本特集では「ペーシング」について紹介されているが、疲労の定義、客観的指標を含めて、リハにもかわる大切な問題である。OTだけでなく、他職種との連携による取り組みも有用である。

今回の特集で紹介されたさまざまな現場での取り組みが集積され、感染症に対する作業療法がより洗練されることを期待したい。

(江藤文夫)

編集顧問

上田 敏 鈴木 明子 寺山久美子

編集委員

江藤 文夫 香山 明美 竹内さをり 長野 敏宏
中村 春基 西出 康晴 山本 伸一

編集同人

朝田 隆	石川 隆志	石原 茂和	宇田 薫
内山 量史	沖田 啓子	片岡 聡子	鴨下 賢一
川本愛一郎	岸本 光夫	窪田 静	近藤 国嗣
斉藤 秀之	相良 二郎	櫻井 卓郎	澤田 辰徳
柴田八衣子	島崎 寛将	関本 充史	高島 千敬
竹中佐江子	田中 栄一	田平 隆行	辻 哲也
鶴見 隆彦	豊田 章宏	白鳥 智子	二神 雅一
堀田 聡子	松田 雅弘	松本 琢磨	松元 義彦
三浦 晃	宮崎 宏興	宮本 礼子	村井 千賀
山根 寛	吉川ひろみ	和田 直樹	渡辺 誠

(五十音順)



作業療法ジャーナル VOL.56 NO.1 (Jan.)

2022年1月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価2,200円 (本体2,000円+税10%)

年ぎめ予約購読料 30,800円 (28,000円+税10%)

(送料弊社負担, 増刊号含む)

発行 株式会社 三輪書店

代表者 青山 智

〒113-0033 東京都文京区本郷 6-17-9 本郷網ビル

代表 ☎ 03-3816-7796 FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

郵便振替 00180-0-255208

(担当: 高野, 森山)

Email otj@miwapubl.com

印刷所 三報社印刷(株) ☎ 03-3637-0005

広告申込所 (株)文京メディカル ☎ 03-3817-8036

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, © 2022, Printed in Japan

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。